

クイックリファレンスガイド

Uniden®

広帯域受信機

BC160J-WED

このクイックリファレンスガイドは、本製品を使い始めるために必要な最低限必要な知識や操作をまとめたものです。

途中から読み始めると、正しく操作できない事があります。始めから最後まで読みながら操作をしてください。

公式 HP に公開されている取扱説明書も必ずお読みください。このクイックリファレンスガイドには載っていない全機能が解説されています。



最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。

https://unidenholdings.jp/product/product_jp/

アドバイザー及び周波数情報提供：ラジオライフ編集部

ご注意

ここに掲載されている注意事項は、クイックリファレンスガイドを読んで本機を使用し始める際に必要と思われる重要な注意事項を抜粋したものです。全ての注意事項は取扱説明書に記載されています。必ず取扱説明書の注意事項をお読みください。取扱説明書をお読みにならないで発生した事故やトラブルは、責任を負いかねます。

警告

- 受信した内容を他人に漏らすことは電波法で禁止されています。
- 使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に置いたり設置しないでください。ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。
- 強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。引火や火災、爆発の原因になります。
- 製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください。火災、感電などの事故、または故障の原因になります。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。
- 指定以外の電池を使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが、故障の原因になることがあります。
- コネクタや端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください。ショートして発火の原因になることがあります。
- 乳幼児の手の届かない場所で使用してください。感電やけがの原因になります。
- アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。身体に当たってけがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。
- 針金などの導電物を差し込まないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 自動車運転時に本製品を操作したり、表示部を見続ける行為をしないでください。

注意

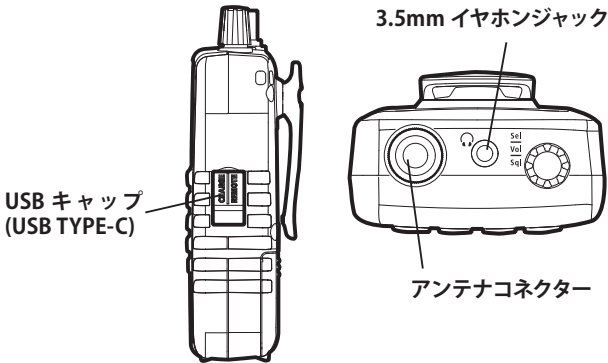
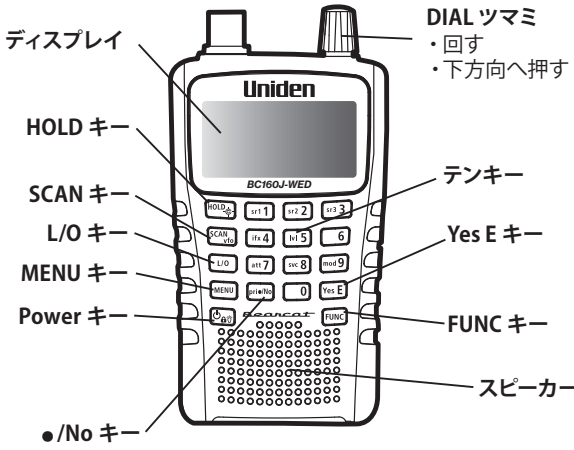
- 水等の液体のかかるところ、結露、ほこり、油煙の多いところに置かないでください。発煙や発火、故障の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定場所に置いたり設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください。変質・変色の原因になることがあります。お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。
- アンテナを強く折り曲げたりしないでください。変形や破損の原因になることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電池を本体からはずしてください。電池が液漏れるなどして、故障の原因となります。

付属品

ご使用前に付属品がすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがあればすぐに購入元にご相談ください。

- 本機
- ニッケル水素充電電池
- ストラップ
- ベルトクリップ
- クイックリファレンスガイド

本体各部の名称と操作



ノブ/キー	操作	説明
DIAL	回す 押す [FUNC]+ 押す	選択 音量調節 スケルチ調節
テンキー ・/No		1～9,0
Yes E		「.」小数点入力 /No に確定
FUNC	押す	キーの橙色表示機能選択
L/O (Lock Out)		不要な信号を一時的にロックアウト(スキップ)操作のキャンセル
MENU		メニュー画面がディスプレイに表示
HOLD	押す [FUNC]+ 押す [FUNC]+ 長押し	スキャンまたはサーチを停止 (ホールド) クロースコール (DND / PRI / OFF) 切り替え クロースコールオンリーモードに切り替え
SCAN/vfo	押す [FUNC]+ 押す	ホールド中にキーを押すとスキャン開始する VFO サーチ開始
Power	押す 長押し [FUNC]+ 押す	バックライト 電源 ON/OFF キーロック ON/OFF

※その他の [FUNC] との組み合わせ操作については取扱説明書をご覧ください。

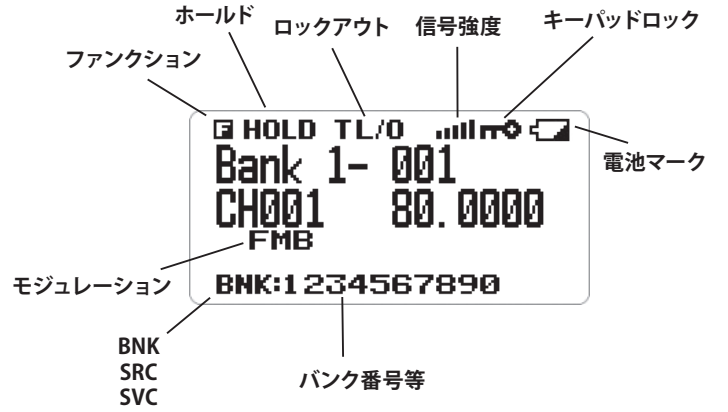
キーと DIAL 操作方法

キー操作は「押す」「1 秒以内に 2 回押す」「長押し」[FUNC]+ キーの 4 種類があります。

「押す」と記載されている場合はキーを押してすぐ指を放します。「長く押す」と違う機能が動作します。「1 秒以内に 2 回押す」と記載されている場合は 2 回連打してください。時間をおいて 2 回押すと違う機能が動作します。

[FUNC]+ キー (DIAL) と記載されている場合は、はじめに [FUNC] を押して、ファンクションモードにしてからキー (DIAL) を入力します。ファンクションモードでは、橙色に記載されているキー (DIAL) 操作が可能です。ファンクションモード中は、画面左上に が表示されます。ファンクションモードは一定時間経過すると解除されます

ディスプレイ (画面) の説明

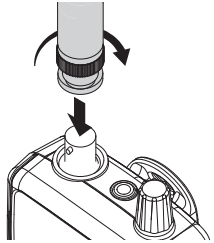


準備

アンテナの接続

右図のようにアンテナ側の溝とコネクタ側のピンを合わせ、時計方向に回してピンをはめ込みロックします。

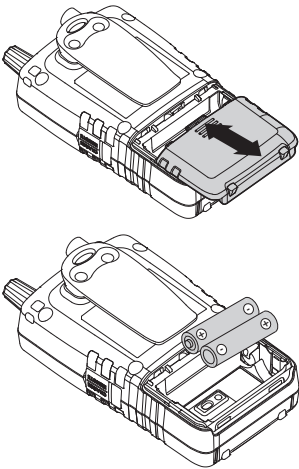
注意：アンテナを取り付けないと受信できません。外部アンテナを接続する場合、BNC-P (プラグ) をご使用ください。



電池の入れ方

- 左図を参照に電池フタを矢印方向にスライドし外します。
- 付属の充電電池 2 本を入れます。
- 電池フタを「カチッ」と音がするまでスライドして押し込み取り付けます。

アドバイス:付属の充電電池 (ニッケル水素電池) 以外に、市販のアルカリ (単 3 形) 乾電池を使用することができます。※リチウム乾電池、リチウムイオン充電電池は使用できません。



充電電池の充電

付属の充電電池は、出荷時の状態では十分な充電がされていないので、ご使用前に必ず充電してください。※充電時間は約 14 時間です。

- 本機の電源を OFF にし、右側面の USB キャップを開けて市販の USB ケーブルの Type-C 側を接続します。
- USB ケーブルを市販の USB アダプター等に接続します。
- 画面に「Battery Charge Start Charging Yes=“E” No=“.”」が表示されます。付属の充電式電池を使用する場合は [Yes E] キーを押してください。No を選択すると「Charge Off」と表示され充電しません。
- 充電中は「NormalCharging」と表示されます。必ず確認してください。表示されていない場合は充電されていません。
- 充電が完了すると画面に「Charge Complete」と表示されます。

※付属充電電池以外の乾電池などを入れている場合は絶対に [Yes E] を押して充電しないでください。

アドバイス:

- 電池残量が少なくなると画面の右上に アイコンが表示されますので、充電してください。電池残量が多い時はアイコンは表示されません。
- 電池が装着されていない状態で USB ケーブル経由で外部給電すると、「No Battery」と表示されます。
- 充電できないバッテリーを検出した場合、「Battery Error」と表示されます。
- USB の電圧が動作範囲外の場合、「Illegal Voltage」と表示されます。
- 本機の電源が ON の時には充電が行われず、充電タイマーが保持され、一時停止します。
- 本機の電源を OFF にすると、充電が開始され、タイマーがカウントされます。

ご注意:

- 付属ニッケル水素充電電池以外での動作は保証致しかねます。
- 本体に電池を装着したままだと過放電の恐れがあります。
- ニッケル水素充電電池を完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
- ニッケル水素充電電池は、充電してから保管してください。また、3 か月に 1 回は充電することをおすすめします。

充電式電池はリサイクルへ

この製品は充電式電池が付属しています。地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC のホームページでご確認ください。

JBRC ホームページ URL : <http://www.jbrc.com/>

電源の入れ方

左下の [o] を長押しする。

ボリューム (音量) の調整

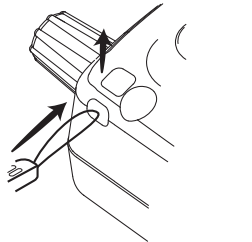
[DIAL] を下へ押し込むと画面に VOLUME LEVEL と横バーで音量が表示されます。その状態で [DIAL] を回すと音量調整ができます。

スケルチの調整

[FUNC] を押してファンクションモードにした状態で、[DIAL] を下へ押し込むと画面に SQUELCH LEVEL と横バーでスケルチレベルが表示されます。その状態で [DIAL] を回すとスケルチが調整できます。

ストラップの使用

右図を参考にストラップを付けてください。



はじめに

スキャンとサーチ

スキャンとは事前にチャンネルへ周波数などの情報を登録しておき、その登録された順に周波数を切り替え受信する機能です。一方サーチとはチャンネルに登録されていない周波数を探す機能となっておりサービスサーチ、カスタムサーチ、VFO サーチの 3 種類があります。また本機の独自機能として強い電波を検出するクロースコール機能があります。

チャンネルストレージバンク (バンク)

スキャンに使用するチャンネル (周波数) が保存されている場所をチャンネルストレージバンクと呼びます。バンクは 10 個あります。このバンクは、1 つにつき、100 個のチャンネル (周波数) を登録することができます。バンク 1 は CH001 から CH100 まで、バンク 2 は CH101 から CH200 まで、というように続きます。

周波数を 10 キーから直接入力して受信したい場合

VFO サーチで HOLD した状態が周波数を直接入力することのできる、いわゆる VFO モード相当となります。次項の VFO サーチの項目をご参照ください

